



DATA 歯科・口腔外科

●施設認定：日本口腔外科学会認定研修施設、日本口腔科学会認定研修施設、日本口腔診断学会認定研修機関、日本老年歯科医学会認定研修機関、日本歯科麻酔学会認定病院、日本顎顔面インプラント学会認定准研修施設、ジャパンオーラルヘルス学会登録施設
●主な対象疾患：口腔外科全般、口腔がん、特殊な管理を要する方の歯科一般、顎変形症、顎顔面補綴、摂食・嚥下機能障害、睡眠時無呼吸症候群



▲歯科・口腔外科

包括的な口腔がんの治療を提供する「口腔がんセンター」を併設

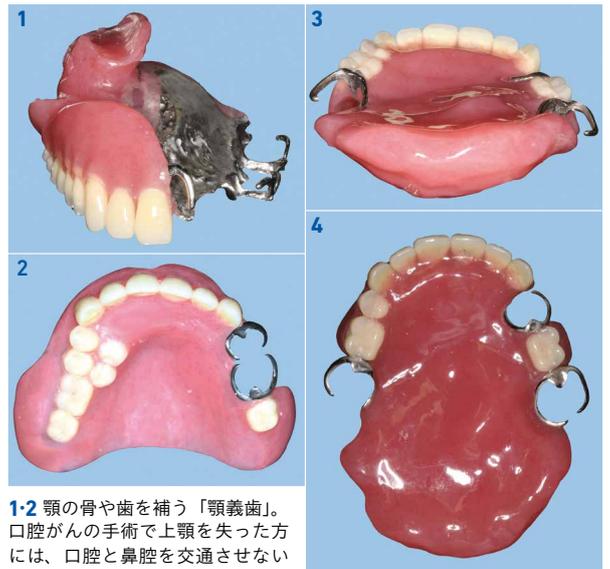
当院の歯科・口腔外科は、一般歯科医院では治療が困難な抜歯、口腔内の膿疱や腫瘍性病変の治療、顎変形症などの手術や、有病者・障がい者など特別な管理を要する方の治療を行っています。また、総合病院にある歯科として、全身疾患の関与が疑われる口腔粘膜疾患等の患者さんを、医科と協働して診療しています。

「口腔がんセンター」は、2006年に口腔がんに特化した施設として全国で初めて設立され、年間100件を超える口腔がん手術を行っています。また手術だけでなく、光免疫療法や免疫チェックポイント阻害薬の導入、さらには放射線治療とがん薬物療法を組み合わせた選択的動注併用放射線治療といった新しい治療法を取り入れつつ、患者さんの状態に合わせた、チーム医療による集学的治療（手術・放射線治療・化学療法・支持療法）を行っています。

咀嚼や構音、嚥下機能の障害を義歯や口腔内装置で補う「顎補綴外来」

進行した口腔がんでは、歯肉や顎、舌、頬粘膜など、腫瘍が発生した口腔組織を手術で大きく切除する必要

口腔がんの治療から術後の機能回復まで



1・2 顎の骨や歯を補う「顎義歯」。口腔がんの手術で上顎を失った方には、口腔と鼻腔を交通させないための装置をつけます。

3・4 舌の動きが悪い方のための「舌接触補助床」。舌を口蓋に接触させやすくして、飲み込みなどを助けます。

があります。しかし手術によって咀嚼や嚥下、構音など、生活に欠かせない機能に影響が出ることがあります。

このような、病変周囲の骨や組織が欠損した患者さんに対して、義歯や特殊な口腔内装置で機能の回復を助けるのが「顎補綴」です。当科の「顎補綴外来」では、日本顎顔面補綴学会認定医が中心となり、口腔がんセンターの歯科医師やインプラント専門医との密な連携のもと、口腔がん患者さんの診療にあたっています。

患者さん一人ひとりに合わせた顎補綴装置を提案・製作

顎補綴で用いられる装置には、主に次のようなものがあります。

顎義歯：失った顎の骨や歯を補う特殊な義歯。必要に応じてインプラントを用いた治療も行います。

舌接触補助床 (PAP: Palatal Augmentation Prosthesis)：舌を切除または舌の運動量が低下することで起こる嚥下障害や、構音障害を改善する装置。口蓋部の厚みを増すことで、舌の動きを補助します。

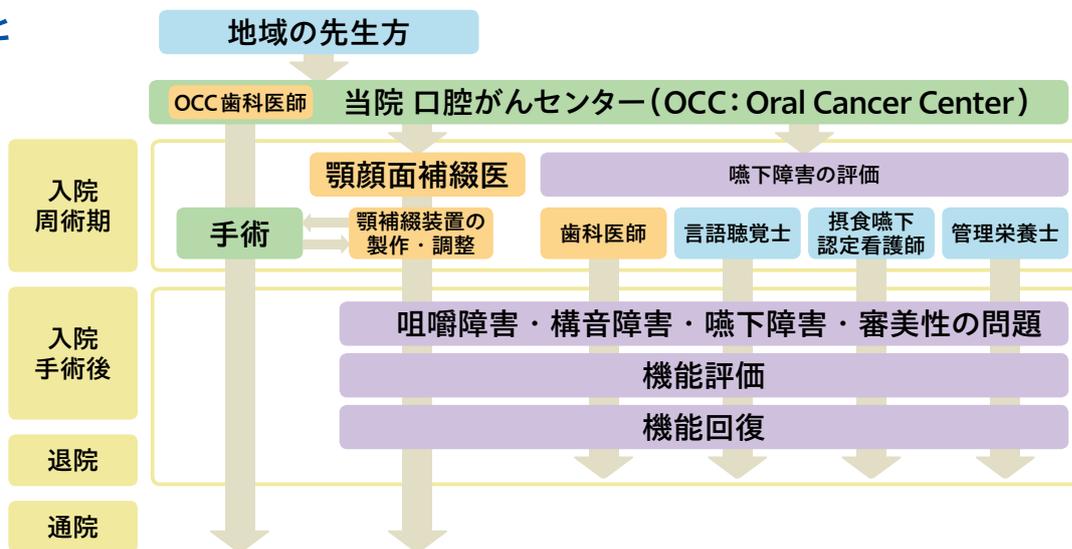


術前から退院後の社会復帰まで、患者さんに寄り添う

歯科・口腔外科

■ 口腔がんの治療と回復の流れ

口腔がんの患者さんは、手術前から退院後の通院まで顎顔面補綴医が担当します。顎補綴で得られるメリットについて丁寧に説明をし、患者さんに安心していただけるような環境を整えています。



顎顔面補綴医が切れ目のない医療を提供

顎補綴装置は、舌や歯など手術で失われた形状を補うだけでなく、「食べる」「話す」といった生活に必要な機能を回復させるためのものです。

顎補綴外来では、術前から患者さんの咬合や嚥下の状態を診察し、手術や放射線治療の影響、術後に起こる機能障害を予測・考慮しながら、口腔がんセンターの歯科医師と連携し、補綴装置を製作します。

術後は創が落ち着き次第、なるべく早い段階で患者さんに顎補綴装置を装着していただき、調整とリハビリを開始することで早期回復を目指します。舌や顎を切除したことで起こる嚥下障害に関しても、術前から言語聴覚士、摂食嚥下認定看護師、管理栄養士と連携し、食事指導や嚥下訓練などを行っています。

口腔がんの患者さんは、手術という大きな治療を終えても、思うように話せない、食べられない、飲み込めないといった不安や喪失感にさいなまれます。そのため、口腔がんの治療は、手術だけでは終わりません。手術を終え、失った機能のある程度回復させるまで続くため、患者さんの社会復帰までサポートをすることが、顎補綴外来の役割だと考えています。

摂食や嚥下の障害がある方を専門的なチームでサポート

入院患者さんに対しては、摂食嚥下支援チームのリーダーとして、口腔がんの患者さんだけでなく、脳卒中や神経疾患などが原因で口腔機能が低下した患者さんも診察しています。

口腔機能が低下している方は、摂食嚥下障害や誤嚥性肺炎のリスクが高まります。未治療のう歯や歯周病を放置していたり、必要な義歯を使用していない患者さんがいらっしゃいましたら、かかりつけ歯科医で口内環境を整えることが大切だということをお伝えください。

また、摂食嚥下障害が疑われる方には、当院で嚥下内視鏡検査（VE）や嚥下造影検査（VF）を行うことができます。摂食嚥下に関してお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。

Doctor's profile



歯科医師 **中島純子** Junko Nakajima

出身地 東京都新宿区

趣味 ソーイング、旅行

歯科医師になった理由

人の役に立ち、かつ手先の器用さを生かせる仕事のため

医療機関の先生方へ

市川総合病院 初診事前予約申込書 [検索](#)

当院と地域の病院・診療所の先生方との間で、患者さんのご紹介などを円滑に行えるように、「地域医療連携室」を設置しています。ご不明な点がございましたら、右記へお尋ねください。

患者支援センター 地域医療連携室

Tel 047-322-0151(内線2214) Fax 047-324-8539

開室時間 月曜日～金曜日：午前9時～午後5時

土曜日：午前9時～12時（第2土曜日は休診日）